株式会社 エム・システム技研

取扱説明書

省スペース（AC 電源）変換器 ***F•UNIT*** シリーズ

リミッタ変換器　FLM / FLMS

このたびは、エム・システム技研の製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。本器をご使用いただく前に、下記事項をご確認下さい。

概　要

主な機能と特長

●信号の変化範囲を上下限制限 ●上下限設定範囲はそれぞれ0～100 %**●設定値モニタ端子に接続したテスタを見ながら上下限制限値を設定 ●入出力間非絶縁形と絶縁付を用意 ●密着取付可能**

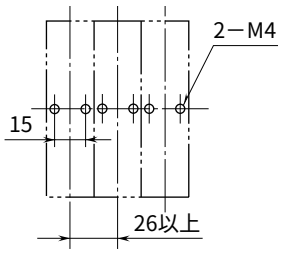
アプリケーション例

●過大入力を与えると誤動作する受信計器と組合せるときの信号制限用 ●燃焼制御ループにおける燃料弁の最低流量確保用

設　置

設置には次のような場所をお選び下さい。
●屋内で、周囲温度が -5 ～ +55℃**の場所**
●湿度が 30 ～ 90 %RH **で、結露しない場所**
●雨や水のかからない場所
●腐食性ガス、粉塵や振動のない場所
取付は、壁取付または DIN **レール取付が行えます。**
壁取付は下記の要領で行って下さい。

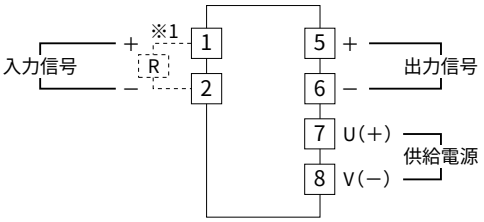
取付寸法図（単位：mm）



接　続

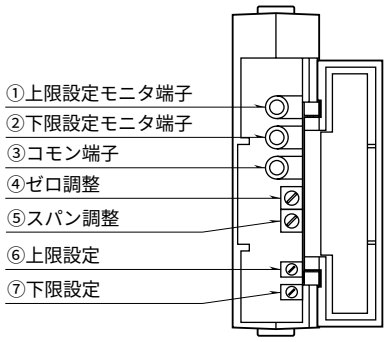
各端子の接続は下図の要領で行って下さい。

端子接続図



※1、電流入力時は入力抵抗器(R)が付きます。

各部の名称および設定方法



・下限リミットの設定
ユニット前面の下限設定値モニタ端子（②）（＋）とコモン端子（③）（－）に電圧計を接続し下限設定（⑦）を回すことにより設定します。信号の 0～100 %**が** DC 0～10 V **に相当します。例えば下限リミットを** 20 %**に設定するときは** 2 V **になるように設定します。**

・上限リミットの設定
ユニット前面の上限設定値モニタ端子（①）（＋）とコモン端子（③）（－）に電圧計を接続し上限設定（⑥）を回すことにより設定します。信号の 0～100 %**が** DC 0～10 V **に相当します。例えば上限リミットを** 80 %**に設定するときは** 8 V **になるように設定します。**

・その他
コモン端子（③）、下限設定値モニタ端子（②）、上限設定値モニタ端子（①）は先端の直径が2.0 mm **のテスタ棒を挿入して測定して下さい。**
上下限の設定は、工場出荷時には、下限→0 %**以下、上限→** 100 %**以上に設定してあります。**

調　整

弊社では入力に対して基準精度内に調整して出荷しております。校正するときは次の要領で行って下さい。

①模擬入力信号を 0 % 相当値に設定し、ZERO で出力を 0 % に合わせます。

②模擬入力信号を 100 % 相当値に設定し、SPAN で出力を 100 % に合わせます。

③再び、模擬入力信号を 0 % 相当値に設定し、ゼロ出力を確認して下さい。

④ゼロ出力がずれているときは、①～③の操作を繰返して下さい。

点　検

①端子接続図に従って結線がされていますか。

②供給電源の電圧は正常ですか。

端子番号⑦－⑧間をテスタの電圧レンジで測定して下さい。

③入力信号は正常ですか。

入力値が 0 ～ 100 % の範囲内であれば正常です。

④出力信号は正常ですか。

負荷抵抗値が許容負荷抵抗を満足するか確認して下さい。

雷対策

雷による誘導サージ対策のため弊社では、電子機器専用避雷器＜エム・レスタシリーズ＞をご用意致しております。併せてご利用下さい。

保　証

本器は、厳密な社内検査を経て出荷されておりますが、万一製造上の不備による故障、または輸送中の事故、出荷後3年以内正常な使用状態における故障の際は、ご返送いただければ交換品を発送します。